

宗岡第二小学校だより

令和8年2月号

No.9



学校教育目標

よく考える子 やさしい子 たくましい子



「自分の行為に責任をもつ ～想像力を働かせて～」

校長 赤沢 直幸

暦の上では、大寒を過ぎ間もなく立春を迎え、通勤途中に見かける早咲きの梅も少しづつ花を咲かせています。春は一步ずつ確実に近づいているのかもしれません、まだまだ朝は氷点下の日があり、厳しい寒さが続いています。そのような中でも、休み時間になると子どもたちは外で元気に遊んでおります。

先週行われた音楽発表会では多くの保護者の皆様にお越しいただきありがとうございました。元気な歌声、美しい歌声、音楽の学習の成果や学年ごとの成長を感じさせる発表会になったのではないかと感じています。

話はガラッと変わりますが、学校では、様々な教科・領域の学習をしています。同時に、人間関係づくりなど社会性を身につける場もあります。授業中の少人数での学び合い、学級会での話し合い活動、休み時間の友だちとの遊び……。様々な場面で人との関わりを学んでいます。これらを通して、学習が深まったり、自他ともに周りから認められ楽しい学校生活が送れたりと良いことがたくさんあります。一方で、残念ながらうまくいくことばかりではありません。不用意な発言で相手を悲しい気持ちにさせたり、関係がぎくしゃくしたり。また、あってはならないことではありますが、感情のコントロールがうまくできず手が出てしまうことも。そんな時子どもたちは、大人たちからの助言をもらい、失敗から学び、同じことを繰り返さないように成長していきます。また、世間に目を向けると、同じ学校で学ぶ仲間に暴力をふるい、その動画をSNSに上げてしまうという許しがたい行為が報道されていました。

事の大きさは全く異なりますが、この報道と子どもたちの失敗に共通すること、それは「想像力の欠如」だと考えています。自分の行動がどのような結果を招くのか、相手はどんな気持ちになるのか、お互いに心地よい関係を築くにはどうすれば良いか、などを想像すれば行動は変わってくるはずです。今月は、少しネガティブな話題になってしまいましたが、子どもたちには想像力を働かせて、皆が暮らしやすい社会を築く大人になってほしいと願っています。

終わりに、尼僧で小説家としても活躍した瀬戸内寂聴さんの言葉を紹介します。
「何をするのもあなたの自由ですが、自分のしたいことによって人に迷惑をかけたり、人を不幸にしたりしてはいけません。自分の行為に自分で責任をもつのが本物の人間です。」

【ニッポン放送「今日を生きるための言葉」第759回より引用】



人を傷つける鬼を退治しよう